

令和6年度 シラバス

教 科	農 業	学科・学年	生産科学科 第2学年	単位数	2単位
		教科書	草花（実教出版）		
科 目	草花	副教材	なし		
科目の目標	草花の生産と経営に必要な資質・能力の育成を目指します。 (1) 草花の生産と経営に必要な知識と技術について学習します。 (2) 草花の生産と経営に関する課題を発見し、農業や関連産業に携わるための合理的かつ創造的に解決する力を養います。 (3) 農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。				
評価の観点	知識・技術【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【主】		
趣 旨	草花の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	草花に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	よりよい社会の構築を目指して自ら学び、草花産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。		

学期	学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			評価規準	評価方法
			知	思	主		
一 学 期	1 草花園芸の特徴 (1) 草花の生産と経営 (2) 草花の種類 (3) 草花の生産形態	草花の生産と経営の特徴、草花の分類方法、草花の生産形態、消費の動向、流通の仕組み、流通の国際化について理解させる。	○			草花生産の経営の特徴について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 草花にはどのような種類があるかを知り、生産形態の特徴を理解している。	・授業（座学）・ 実習への取り組み方 ・観察・調査・実験 ・ペーパーテスト ・レポート等の提出 ・各管理実習の目的的理解
	2 草花生産と消費の動向 (1) 草花生産の動向 (2) 消費の動向 (3) 流通のしくみ (4) 流通の国際化			○		草花生産の役割と動向に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。 草花の品種の違いにより、生産形態の分布に違いがあることなどを考察できる。	
					○	草花生産の役割と動向について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 おもな草花について、学名の由来や生産形態などを自ら学んでいる。	
二 学 期	3 草花の多面的利用 (1) 草花利用の意義 (2) 草花の利用 (3) 草花を用いた健康増進	草花が私たちの生活の中でどのように利用されているかを知り、草花のもつ装飾的な特性やデザインの理論を理解させるとともに、効果的な園芸装飾技術を習得させる。	○			切り花・鉢もの・花壇用草花の用途を知っている。 草花の装飾的特性を理解し、それらを生かした利用方法を習得している。	・授業（座学）・ 実習への取り組み方 ・観察・調査・実験 ・ペーパーテスト ・レポート等の提出 ・各管理実習の目的的理解
	4 園芸デザイン (1) 園芸デザインと草花の装飾的特性 (2) 園芸デザインの基本 (3) 園芸デザインの実際			○		生活や地域における草花の多面的な利用について、どのように利用されているかを考察できる。	
					○	草花が生活のなかでどのように利用されているか関心をもっている。	
三 学 期	5 草花の生育と環境 (1) 草花の一生 (2) 根の成長と養水分の吸収 (3) シュートの成長と光合成 (4) 花序や花芽の分化と発達 (5) 生育開花調節と作型	草花の生育の共通的な特性と、栽培技術の基礎として草花の生育と環境の関係を理解させ、草姿の調節方法や開花の調節技術を理解させる。次に、草花の品種改良と繁殖方法について、その基本原理と具体的な方法を理解させる。	○			草花の生育のしかたや、形態について理解し、生育・開花の調節方法を知っている。 品種の重要性と品種改良の目的を理解し、それらのさまざまな方法を知っている。	・授業（座学）・ 実習への取り組み方 ・観察・調査・実験 ・ペーパーテスト ・レポート等の提出 ・各管理実習の目的的理解
	6 品種改良と繁殖 (1) 草花の品種と品種改良 (2) 品種改良の手順と方法 (3) 草花の繁殖方法 (4) 種子繁殖 (5) バイオテクノロジーを利用した繁殖と品種改良			○		草花生産の特性と栽培技術に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。 草花の生育と環境要因との関係について考察できる。	
					○	草花生産の特性と栽培技術について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。 さまざまな草花の発芽勢と発芽率について関心を持ち、意欲的に探究しようとする。	

